

立入が丘小学校3年「住吉神社調査隊」の皆さん

ようこそ住吉神社へ

住吉神社氏子総代

火祭りについて

- 火祭りはいつから始まった？
約800年前（鎌倉時代の初期）からと言われているが・・・

大昔のこと

ハッキリと書いたものが無い

⇒ 確かなことは分からない

火祭りについて

- 火祭りの始まり

鎌倉時代に土御門天皇（つちみかどてんのう）が
重い病気

この地にすむ大蛇が災いしている
焼き払って退治したところ治った

鎌倉時代 1185年～1333年

土御門天皇 1198年～1210年（在位）

1195年生まれ

- 以来、年の初めに、大蛇に見立てた松明（たいまつ）
を燃やして、無病息災や家内安全を祈るようになった

火祭りについて

- なぜ毎年行っているのか？
800年以上続く伝統行事である
滋賀県選択無形民俗文化財となっている

伝統ある立派な行事

⇒ 次の世代へ引き継ぎ、後世に残す

火祭りについて

- どこで行っているのか？

大蛇を焼き払ったとき

頭部	浮気に	}
胴体	勝部に	

毎年火祭り実施

しっぽ 大津の瀬田に (今では実施していない)

浮気では、大蛇に見立てた松明（たいまつ）の頭の部分を燃やしている

住吉神社について

- なぜ「すみよし」神社という名前？
住吉三神（すみよしさんしん）を祀（まつ）っている 「海の神」「お祓い（おはらい）の神」
⇒ 大阪の住吉大社と同じ

住吉三神とは

底筒男命（そこつつのおのみこと）

中筒男命（なかつつのおのみこと）

表筒男命（うわつつのおのみこと）



三つの神の総称

住吉神社について

- 「住吉」は
 - ① 「スミヨシ」と読みますが、古くは「スミノエ」と読みました
「エ」とは、「ええ」＝「良い」
神様が「住むのに良い」との意味
 - ② 「海の神」＝「水の神」
きれいに澄んだ（すんだ）水は「ええ」＝「良い」
「住吉」⇒「澄み良し」の意味もある

住吉神社について

- なぜ浮気町に住吉神社をつくったの？
「海の神」であり航海の安全を祈るため

浮気に港があった

琵琶湖から木の船が行き来していた

⇒ 舟の安全を願って住吉神社を建てた

住吉神社について



(現在の野洲川の略図)



(古代の野洲川の想像図)